

オンライン採用  
フルサポートパッケージ⑤  
オンライン面接の進め方  
マニュアル

→ ご相談はこちらから ←

# オンライン採用 フルサポートパッケージについて

オンライン採用フルサポートパッケージを提供する株式会社ジェイックでは、中堅中小企業を対象に、採用支援・社員研修のサービスを提供しています。

[ジェイックのサービス一覧はこちら](#)

オンライン採用フルサポートパッケージは、これからオンラインでの採用活動に取り組まれる企業、オンライン採用の質を向上させたい企業を対象に、押さえておくべき9個のテーマをレポート形式で、完全無料で提供します。

## 【オンライン採用 フルサポートパッケージ 一覧】

追加でダウンロードしたいタイトルをクリックしてください

[①オンライン採用に必要なデジタル機器リスト](#)

[②web面接のトラブルを激減できる事前案内とトラブルシューティングのポイント](#)

[③オンライン採用で面接官を魅力的に見せる5つのコツ](#)

[④オンライン面接の印象が良い会社／悪い会社 違いが生まれる原因は？](#)

[⑤オンライン面接の進め方マニュアル](#)

[⑥オンライン採用での見極め 5つのポイント](#)

[⑦オンライン採用で人材を魅了付けする5つの秘訣](#)

[⑧オンライン会社紹介 7つのコツ](#)

[⑨オンライン会社紹介 Sample & テンプレート](#)

## 【オンライン面接の流れ】

オンライン面接の流れは、大きくは6つのブロックで構成します。  
(選考プロセス、面接時間に応じて自由にアレンジしてください)

- A.アイスブレイク (5分程度)
- B.事務連絡 (2~3分)
- C.会社紹介 (Q&Aを含めて10~15分)
- D.面接 (見極め&魅了付け) (20~30分)
- E.質疑応答 (5~10分)
- F.今後の流れ (1~2分)

基本的な流れは、対面での面接と大きな違いはありません。  
次ページ以降で、「対面での面接と異なるポイント」を、詳しく説明していきます。



## 【A.アイスブレイク】

Web面接では、対面での面接と比べて、面接官と応募者の心理的な距離が遠くなる可能性が高くなります。また、対面と比べると、応募者の「人柄」が見えづらい、という部分もあります。従って、対面よりも意図的、丁寧にアイスブレイクを行うことをお勧めします。

- ・ オンライン面接の経験
- ・ 接続状況や背景に映っているもの
- ・ 履歴書等でわかる趣味や共通点
- ・ 面接官の自己紹介（とくにパーソナルな情報の開示）

はじめに丁寧なアイスブレイクをすることは、面接への好印象、会社の魅了付けにも繋がります。

アイスブレイクで、応募者の笑顔で出れば、面接の進行は、ほぼ成功と言えます。



## 【B.事務連絡】

---

事務連絡では、対面でも伝えるような面接の流れや所要時間に加えて、以下を伝えることをおススメです。

- ・ 面接中に通信状態が不安定になった場合等の対応  
⇒ 1回再接続を試してみて、上手くいかない場合は電話してもらう  
(面接官の電話番号を伝えてメモしてもらう)
- ・ WEB面接だからといって不利ではない  
⇒ 対面面接とWeb面接が混在した状態ですと、応募者は、「Webよりも対面の方が有利ではないか」と思ってしまいがちです。Web面接だからといって選考に不利は生じないことを伝えると応募者が安心します。



## 【C. 会社紹介】

---

会社紹介のコツは、パッケージ⑧「オンライン会社紹介7つのコツ」で詳しく解説しますので、ここでは手短かに記載します。オンライン採用の会社紹介（面接内で行うケース）で重要なポイントは、以下の3点です。

★一方的にしゃべり過ぎない

小まめに相手の理解度を確認したり、質問を受けたりするなど、対面以上に会話のキャッチボールを心掛ける

★可能な限り、事前に資料共有しておく

事前に共有することで、会社概要や事業内容、職務内容などの説明は省き、魅了付けするための会社紹介に時間を使えます。

★職場や社員の写真を用意しておく

パッケージ⑦「オンライン採用で人材を魅了付けする5つの秘訣」で詳細に解説しますが、応募者からすると、オンライン面接では、職場の雰囲気判断できません。その情報を補足するために、職場や社員の写真などを画面共有すると効果的です。会社紹介も事業の想いや仕事のやりがい、社風などを熱を込めて語るところに、時間を割いたほうが魅了につながります。

## 【D.面接】

---

面接での見極めは、パッケージ⑥「オンライン採用での見極め：5つのポイント」、魅了付けは、パッケージ⑦「オンライン採用で人材を魅了付けする5つの秘訣」で詳しくご紹介します。

面接の流れや質問は対面の面接と変わりません。しかし、画面越しでは、どうしても細かい表情や雰囲気分かりづらい部分は出てきます。

その分、見極め側では「構造面接」の手法でしっかりとエピソードを深掘ること、また、魅了付けでは、仕事のやりがい、会社の雰囲気などの魅力ポイントを「画面共有」等を使ってイメージしてもらうことが重要になってきます。



## 【E. 質疑応答】

---

質疑応答は魅了付けする機会でもあります。口頭で答えるだけでなく、写真などを準備しておき、相手の気になるポイントに応じて、それを表示しながら回答すると効果的です。



## 【F. 今後の流れ】

---

対面の面接と同じようにフィードバックや合否連絡の確認をして、面接を終了します。

